



一般社団法人富山県臨床検査技師会
令和2年度第3回理事会会議

開催日時	令和2年6月11日(木) 14時30分～16時30分
開催場所	富山県医師会館 4階大会議室
出席理事	南部重一、澤井真史、上野智浩、村椿智佳子、中河竜也、石川幸和、油谷智史、谷口直美、柏原早苗、岩崎 浩、辻田由加利、西村直子、長谷川陽子、柴野亜希子、洲崎そのみ、 武島千尋、田近洋介、江平寿也、青木貴子、矢野彩子、平田和佳子、成瀬里恵、 幹事：成瀬 智、金山 昌子
欠席理事	稲垣規子、宮腰希望、横井優紀
会議次第	I. 開催の挨拶 II. 出欠の確認 III. 議題
	I. 開催の挨拶 II. 出欠の確認 出席 <u>22</u> 名 欠席 <u>3</u> 名 (委任状3名) 今期承認理事は25名で、令和2・3年度富臨技理事体制となる。 一般社団法人として、理事会の成立には半数以上の出席が必須となる。 第2回理事会は半数以上の出席を満たさなかった為、第1回常務理事会とされた。 第1回常務理事会協議事項は、みなし理事会として書面決議書と同意書をもって →第1回常務理事会協議事項は新理事25/25の全承認とされた旨を説明した。 幹部役員理事(会長、副会長、事務局長)のみ紹介された。 III. 議題 <u>1. 提案(決議)事項</u> 1) 全国「検査と健康展」の実施について 今年度、中央会場は中止の決定。地方会場は各都道府県の判断とする。 毎年11月開催(高岡イオン)であるが今年度は年度内(2月まで)の開催を認める。 富臨技としては、実施について、共同共催L-KAT堀元氏との調整もあるが、まず会場側に受け入れてもらえるかも不確定であり(澤井副会長)、不特定多数の集合状況は安全が担保できかねる(上野副会長)、健康チェックはかなり密な検査状況となるため今年度中はやるべきでない判断したいとの会長意見にみな同意し、今年度開催は中止で承認された。 中部圏6県においても中止の方向性である。 2) 富臨技学術部門研修会の実施について

4月から6月までは学術活動を自粛し、開催は中止の指示をしてきた。
7月より三密を避け、県内研修会を再開の方向性で計画を進めていただきたい？
富山県として今後どう進めていくか？について学術部長より、対策をとって行う分にはよいと思われるが、メーカーと一緒に今の状況であればよいが、いつどうなるかわからない現状である。
県をまたぐ学術研修会の合同開催については、開催県が十分な対策をとったうえで企画開催を7月より願いたい。
現状全く上がってきていないが、今の状況であれば、7月以降の研修会開催の企画を三密を避ける形で進めていくよう計画をお願いしたい。
学術活動については日臨技より助成金補助があり、1研修会につき3万円の助成+参加者500/人→上限5万円の助成が受けられる。(年間20研修会まで申請可)
実技を伴う研修会については参加費を設定している。(新人輸血研修会等)
学術部門長会議の開催をもって説明願いたい。(7/9 予定)

2. 報告・確認事項

1) 令和2年度 支部医学検査学会・支部主催研修会について

今年度開催の日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回)は中止が決定された。
支部主催研修会は年内の開催を中止、今年度中の開催は困難。
今年度富山開催担当はないが、来年度生理、輸血である。
7月中旬に中部圏支部会議において、来年度の中部圏支部学会の最終担当確認あり。
富山県としては、次年度開催の意向を申入れ予定、各部門の部門長より企画の立ち上げがあり、企画を次年度に持ち越しつつ改めて開催したい。
外部講師へも引き続き継続を依頼する予定。
組織の再構築構成し、澤井実行委員長が中心になって次年度開催に始動。
前理事と協力し、組織再考し、組織図を改めて作成して準備を進めていく。

2) 「いきいきとやま・第33回健康と長寿の祭典」

例年10月に実施していたが、今年度は中止

3) R2・3年度理事名簿の確認 別紙参照

施設名・氏名・メールアドレスの確認と理事会開催案内はメールで可能な方は申出る。
会 長 南部 重一
副会長 澤井 真史、上野 智浩
事務局長 村椿 智佳子、次長 中河 竜也、事務局員 石川 幸和
学術部長 油谷 智史、副部長 谷口 直美
部員 稲垣 規子(富山赤十字病院)、柏原 早苗(南砺市民病院)
精度管理部長 岩崎浩(市立砺波総合病院)、副部長 辻田由加利(厚生連滑川病院)
部員 西村 直子(JCHO高岡ふしき病院)、長谷川 陽子(富山市民病院)
公益事業部長 宮腰 希望(高岡市医師会臨床検査センター)

副部長 柴野 亜希子（済生会高岡病院）

部員 洲崎 そのみ（金沢医科大学氷見市民病院）、武島 千尋（北陸中央病院）
広報部長 田近 洋介（済生会富山病院）、副部長 江平 寿也（かみいち総合病院）
部員 横井 優紀（富山市医師会健康管理センター）
会計部長 青木 貴子（富山県立中央病院）、副部長 矢野 彩子（県立中央病院）
部員 平田 和佳子（富山労災病院）、成瀬 里恵（富山大学附属病院）
監事 成瀬 智、金山 昌子（黒部市民病院）

4) 6/8（月）中部圏支部 Web 会議

日臨技：横地副会長、梶山副会長、事務局 2 名

中部圏支部：山本支部長（三重）、中根（愛知）浅野（岐阜）、大石（静岡）、
南部（富山）、石川欠席

- ① 感染症発生動向調査事業の活用による PCR 検査の体制強化のための研修の実施について（令和 2 年 5 月 25 日）
- ② 臨床検査技師に対する新型コロナウイルス感染症の診断を目的とした PCR 検査のための鼻腔・咽頭拭い液の採取に関する研修の実施について（R2 年 6 月 2 日）
厚労省から県へ県内各施設向けに案内が送付されている。
同様に日臨技から各県技師会支部長あてにも依頼分が送られてきている。
県から降りてくる要請については県厚生部健康化疾病対策課担当窓口へ打診済。
今後、県単位での厚労省指定講習研修会開催の打診がある。

厚労省指定検体採取講習会実施は H27 年の法改正により 5 年間をめどに終了予定

であったが、東京を起点に指定講習会は継続開催となる予定。

特段の理由がない限り全ての検査技師に於いて指定講習会を受講することとの通達あり。各技師会から各施設長宛に必要性を再度伝え積極的に受講すること。全国の受講率は 51000/66000 人で、78%、富山県の受講率は 423/568 人で 74%。
日臨技 HP にて近日公開予定

厚生労働省から発せられた「感染症発生動向調査事業の活用による PCR 検査の体制強化のための研修の実施について」の手順。

①日臨技 Web 研修受講（日臨技 HP より）：E-ラーニングで 240 分の座学

②都道府県行政主導（技師会協力）での実技講習：県技師会主催

行政主導の研修会であり、富山県では富山県厚生部健康課にあたる。

国の補助金により実施されるため、県窓口との調整が必要となる。

WEB 研修受講終了後の実技講習会は学術部門にて企画の実地研修で行政検査支援コース（RT-PCR 法）と機器の新設コース（LAMP 法等）を実施していくこととなるが、技師会では後者の機器の新設コース（LAMP 法等）研修をメインとし、前者は県厚生部主導で行うことが想定される。実技指導と施設は県衛生検査所、富山大学をメインにメーカー講師指導協力を得ての開催になると考えられるが、検体採取の講習会を開催したときに希望者がいるかから調査を開始する。

今回のコロナ助成金を利用して PCR 導入申請を計画している県内施設は、砺波・黒部・上市・日赤・南砺市民・厚生連高岡の 5 施設である。

* 注意点は、厚労省指定講習会には置き換わることはないこと。

この研修は新型コロナウイルス感染症に特化した内容で実施し、指定講習会を受講していなくとも PCR 検査のための鼻腔・咽頭拭い液の採取を特例的に実施可能とすることを目的としたもので、この研修を受講しても「指定講習会」を受講したことにはならない。

5) 富臨技創立 65 周年記念事業

富臨技は今年で 67 年を経過するが、県知事表彰の絡みで、2 年のずれがある。

5 年に一度の県功労賞のタイミングで県知事表彰を記念式典で表彰が行われる。

開催日時の決定：富臨技記念事業の開催日候補は 2021 年 3 月を予定している。

2021 年 3/6 (土)、3/13 (土)、3/20 (土)、3/27 (土)

富山県医学検査学会を同日開催し記念事業を企画する方向性で、事業計画を進める。

来賓、各県の会長の招待が必要となる。

今年度予算に記念事業費の記載がないが、前年度学会準備金の返金分で調整予定。

3. 各部局報告

1) 事務局

富山県技師会員数報告 553 名 (2019/6/11/14 時時点) 入会 17、退会 7

新規富臨技入会申請者 15 名の読み上げ紹介を持って入会承認を得た。

(新規会員の会費納入：日臨技 1 万円、県技師会 6 千円、新規加入 1 千円)

理事会開催案内はメールでの連絡となる。

理事会参加について、職専免 23 施設、年休 2 施設

2) 会計部

収入：日臨技より 5/29 県技師会へ技師会費 6000 円／18 名分 108000 円

新規加入金 1000 円／10 名分

賛助会員助成金 36 社／予算 49 社、広告費 16 社／予算 19 社

支出：コピー機リース代 23760 円/月、コピー代金請求分 11000 円

通信費の節約→HP の活用にて書類の郵送費を削減する。

3) 精度管理部

富臨技精度管理：6 月 22 より開始予定

試料配布はクロネコヤマトに依頼で、各部門より発送予定。

JAMTQC を利用しての、結果回答入力運用。

血液部門において、部門責任者の交代があった。

郵送でのアンケート調査の提案があったが、精度管理部長が設定中。

富臨技精度管理は富山県精度管理協議会として県医師会との共同事業精度管理事業

県より 90 万円、県医師会より 140 万円、富臨技より 120 万円の助成金にて運営
精度管理報告会にて調査結果を報告：12 月頃開催をめどに企画準備
例年講演会の同時開催を企画
第 2 回目の精度管理協議会の開催：10 月頃をめどに計画準備

4) 学術部

部門員の交代：部門長名簿 別紙参照

年間活動計画：現状のままであれば 8 月くらいから再開可能か？

日臨技よりオンライン研修会企画に際しても日臨技研修会助成申請が可能である。
次期部門長交代については、総会をめどに検討していく。

7/9 次回理事会終了後に第 1 回学術部門長会議を開催予定である。

コロナ禍でオンラインを活用した研修会立案も企画出来れば進めてもらいたい。

日臨技の研修会助成は 1 研修会当たり上限 5 万円で年間 20 研修会まで（年間上限
100 万円の助成）申請が可能である。（昨年度実績 16 研修会）

5) 広報部

富臨技会報について月一回の配信予定

コーヒーブレイク、トピックス担当割表の配布。 別紙参照

HP の役員構成を新役員に更新 掲載予定

HP に技師会理事会の議事録掲載 ⇒ 事務局からアップ

6) 公益事業部

① いきいきとやま・第33回健康と長寿の祭典（10月開催）

中央会場での開催は中止が決定された。

今年度の「いきいきとやま・第33回健康と長寿の祭典」は書面決議書による実行委員
会にて中止となった。

来年度は令和3年10月27日（水）、28日（木）の開催を予定。

②全国検査と健康展（11月開催） 別紙参照

今年度、中央会場は中止の決定。

地方会場は各都道府県の判断とするため今年度は中止。

毎年 11 月開催（会場は高岡イオン）

4. 今後の日程

6/20（土） 日臨技定時総会（東京）

議決権行使 協議事項がある場合は 2/3 以上（66.7%以上）の賛成が必要となる

6/19 正午〆切のため事務局より一斉メールにて協力依頼を行う

議決権行使回収手数料について、昨年出席実績 68%以上で 100 円/票

68%以上（100 円）、66.7%以上（70 円）、50～66.7%（50 円）、50%以下（0 円）

- 7/4 (土) 日臨技理事会 (東京) 南部会長出席予定
7/9 (木) 第4回理事会 (会場費 8000 円)
終了後に学術部門長会議第1回目開催
7/18 (土) 中部圏支部内連絡会議 (Web 会議)

5. その他

1) 日本臨床検査技師連盟 連盟執行委員の交替

柴田正信 (厚生連高岡病院) → 1000 円 ⇒ 3000 円

澤井 真史 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)

任期: 令和2年7月1日～令和4年6月30日

2) 富臨技ホームページ

・役員紹介の更新 ⇒ 田近広報部長

・理事会議事録の掲載 ⇒ 中河事務局次長

3) 中部圏支部医学検査学会 (第59回)

次年度開催の申入れが承認されてから仕切り直しとする。

・組織の再構築

・企画の再検討 見直し

メインシンポ

特別講演

・会場 2021年 国際会議場にて開催

・学会用銀行口座開設手続き

・ホームページ延長掲載

ポスター、学会名刺、のぼり旗リニューアル発注、観光案内冊子の手配等。

・技師長等管理監督者会議にて学会協力委員依頼

議事録署名	会議議長	南部 重一
	議事録著名人	澤井 真史
	書記	村椿 智佳子